

レジメン名称	1コース	催吐性リスク
GEM+CBDCA+BEV	21日間	中等度催吐性リスク(アプレピタント併用)

滴下順	薬剤	用量	用法	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
		アプレピタント125mg	1カプセル	1×抗がん剤開始60分前	●																				
	アプレピタント80mg	1カプセル	1×朝		●	●																			
滴下順	薬剤	用量	ルート	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	生理食塩液	100mL	メイン	30分	●																				
2	グラニセトロン デキサメタゾン	3mg/100mL 3.3mg	メイン	30分	●																				
3	ゲムシタビン 生理食塩液	1000mg/m ² 100mL	メイン	30分	●																				
4	カルボプラチン 生理食塩液	AUC 4 500mL	メイン	2時間	●																				
5	ベバシズマブ* 生理食塩液	15mg/kg 100mL	メイン	1時間30分	●																				
6	生理食塩液	100mL	メイン	30分	●																				
1	生理食塩液	100mL	メイン	30分								●													
2	デキサメタゾン デキサメタゾン	6.6mg 100mL	メイン	30分								●													
3	ゲムシタビン 生理食塩液	1000mg/m ² 100mL	メイン	30分								●													
4	生理食塩液	50mL	メイン	15分								●													

* ベバシズマブ初回90分で問題なければその後60分。それでも問題なければ30分まで短縮可能

プラチナ感受性再発卵巣癌で二次減量手術を行った場合は、1コース目はベバシズマブを使用せず通常の化学療法のみで行う。ベバシズマブは2コース目から追加。

注意) 化学療法6コース後PDでない場合は、ベバシズマブ単剤による維持療法へ移行

ベバシズマブを継続投与しなかった場合の有効性は示されていない